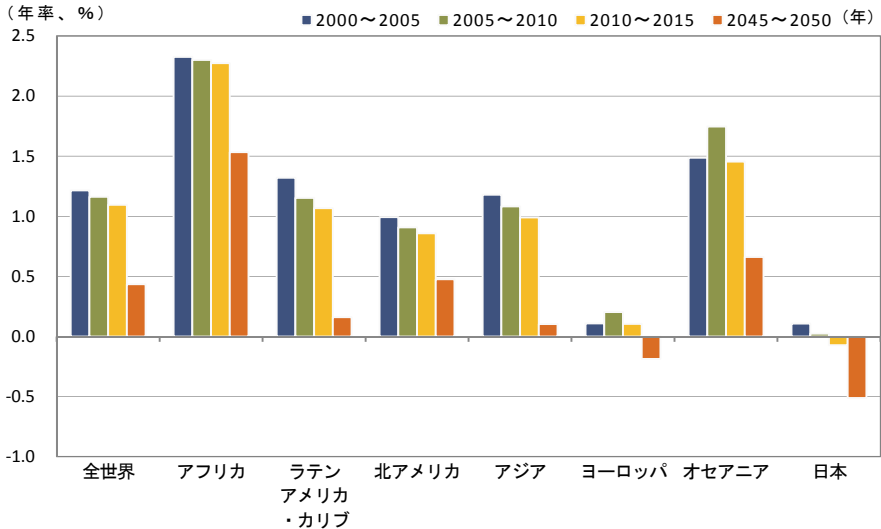


## 2 人口・労働力人口

### 2-2 人口増加率



▶ グラフの具体的な数値及び資料出所については、「第2-2表 人口増加率」(p.56)を参照。

国連の2010年版世界人口予測によると、全世界の人口は、2005年の65億人から2010年に69億人(年率1.16%)、2015年に80億人(年率1.10%)、2050年には93億人と、2010年からの40年間で約24億人の増加が予測(中位推計)されている。2008年版世界人口予測では、2050年の世界人口の中位推計は91億人であったが、今回の推計では1.5億人ほど多い予測となっている。

上のグラフをみると、ヨーロッパ地域及び日本の2005年～2010年の人口増加率は各々0.2%、0.02%と低水準で、その後徐々に減少し、2045年～2050年には各々-0.19%、-0.51%に低下する見込みである。他方、アジア地域及び中南米地域の増加率は低下するものの、2015年までは1%程度で推移する予測となっている。しかし、これらの地域の少子化のスピードが先進地域よりも急速であることから、2050年までに増加率は各々0.1%、0.16%低下する予測となっている。今後2050年までに最も人口増加率が高い地域はアフリカ地域で、2015年までは年率2%を上回り、2045年以降も1%を上回る水準で推移する見通しである。